

第2回市民まちづくりプランづくり会議

平成30年5月26日

1 1

本日のプログラム

1. ふりかえり 【10分】
2. アイスブレイク 【5分】
3. 宿題の共有 【20分】
4. チーム分け 【10分】
5. グループワーク 【70分】
6. おわりに 【5分】

2

ふりかえり

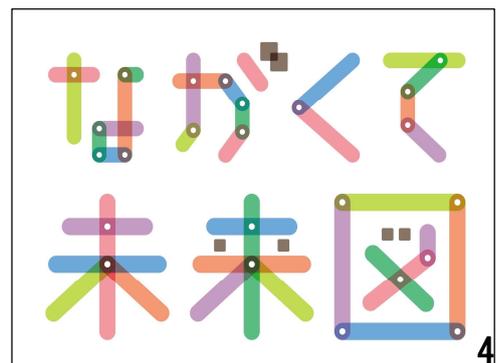
3 3

総合計画とは？

総合計画（愛称：ながくて未来図）とは、
長久手市が目指す10年後の姿や
そのための取組を示す

「まちづくりの指針」となる

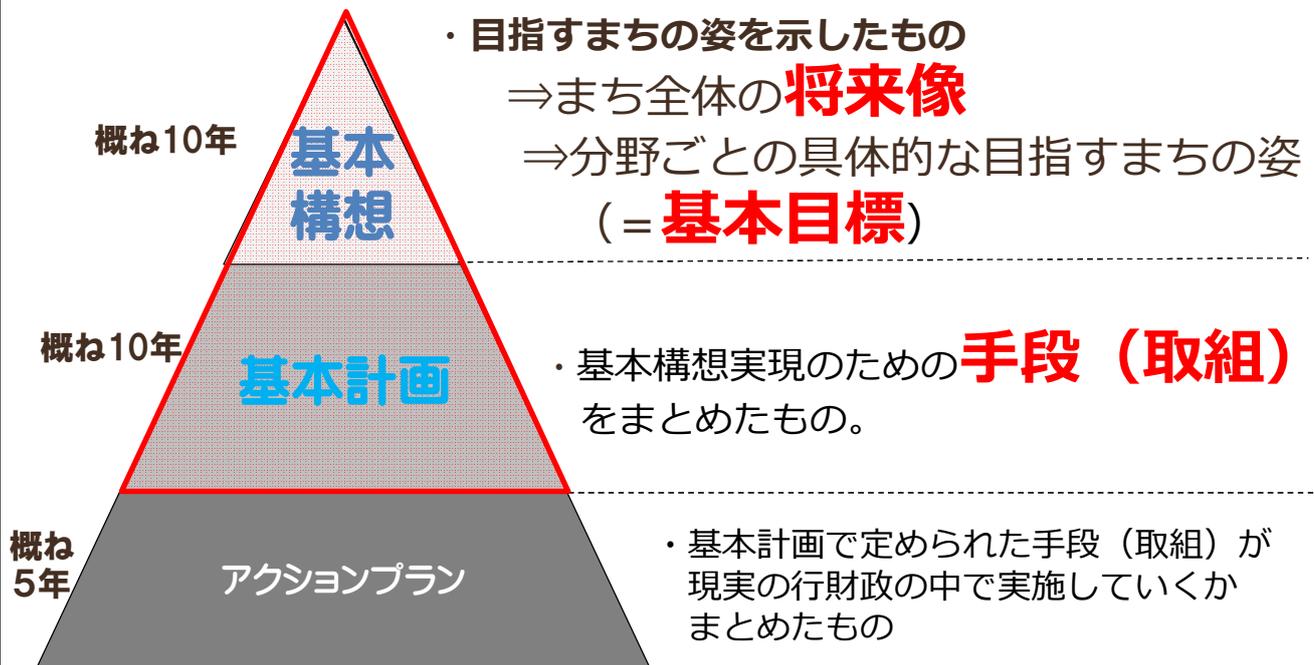
大切な計画です。



平成29年度から、多くの方と「ながくて未来図」をみんなで作るワークショップを行ってきました！



みなさんからいただいた意見等を基に、**基本構想・基本計画**を作成しています！



総合計画とは？

長久手市民のみなさまへ

本市では、現在、長久手市の今後10年間のまちづくりの指針となる総合計画（愛称：ながくて未来図）の策定作業を進めています。

平成29年度から策定作業を市民のみなさんと進め、「この10年で長久手市が目指すまちの姿（＝基本構想）」がまとまってきました。

まだ、途中段階のものですが、現在まとまっているものを冊子にまとめましたので、ぜひご覧いただき、ご意見ご感想をお寄せください！



長久手市市長公室経営企画課
Tel: 0561-56-0600
Fax: 0561-63-2100
メール: keiei@nagakute.aichi.jp

第6次長久手市総合計画（ながくて未来図）

この10年で

長久手市が目指すまちの姿

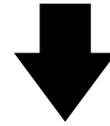
平成30年5月

長久手市

■ 総合計画（ながくて未来図）づくりは、市HPや広報で、取組経過を掲載しています。
■ Facebook ページ『みんなで作ろう！ながくて未来図』もぜひご覧ください！ ⇒

基本構想

- ・ 目指すまちの姿を示したもの
⇒ まち全体の**将来像**
⇒ 分野ごとの具体的な目指すまちの姿（＝**基本目標**）



広報6月号

に折り込んでいますので、

ぜひご覧ください！

7 7

市民まちづくりプランとは？

市民まちづくりプランとは？

10年後の目指すべき姿に向かって、市民のみなさんで取り組むこと（＝「市民アクション」）をまとめたもの。

市民まちづくりプラン策定の目的

- ① 「まちに興味を持つ」市民を増やすきっかけとして！
- ② 「まちに関わる」市民を「市民から」広げていくため！
- ③ 「市民主体のまちづくり」の指針として！

8

ではなぜ、 市民まちづくりプラン が必要なの？

今はまだ見えていない・見えにくい課題が、
今後の高齢化・人口減少に伴い、顕在化され
波のように押し寄せてきます…

超高齢化・人口減少

介護

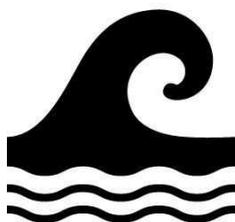
認知
症

孤立
死

税収
減

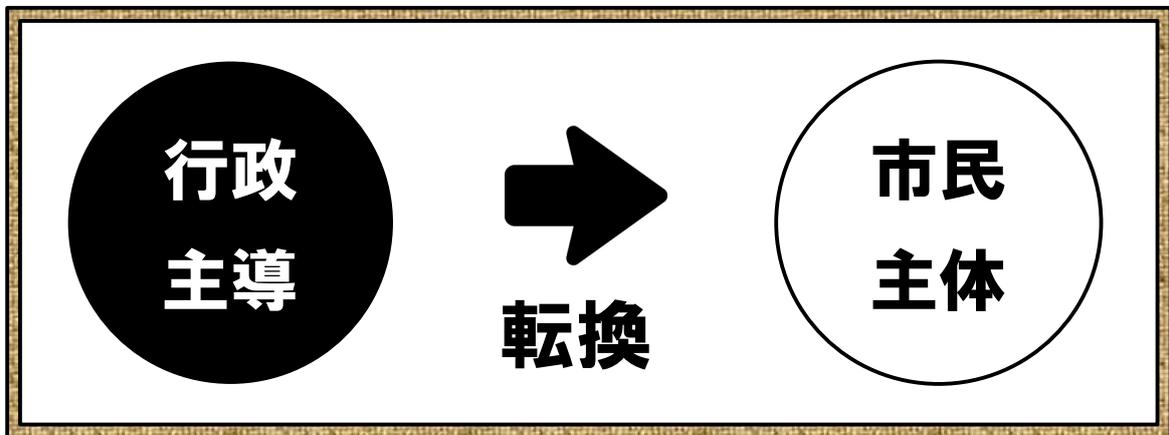
社会
保障
費増

公共
施設
老朽
化



行政だけでは太刀打ちできない!!

顕在化する諸問題へ対応していくため、
多様な市民の、多様なアイデアをまちづくりに活かす



「市民まちづくりプラン」を、
市民主体のまちづくり実現につなげたい！

市民まちづくりプランの位置づけ



市民まちづくりプランとは？

第1回 4月22日(日) 10:00~12:00

市民アクションアイデア出し

- 今までのワークショップで出されたアイデアの共有
- 「問い」を参考に、市民アクションにつながるアイデアを考える

済

第2回 5月26日(土) 14:00~16:00

チーム編成・「お試しアクション」を考える

- 一人ひとりが「やってみたい！」と思うアイデアの内容を基にチーム分け
- チームで、アイデアを深め、「お試しアクション」を決める

第3回 6月30日(土) 10:00~12:00

「お試しアクション」に向けての準備

- チームで、「お試しアクション」の準備を進める

お試しアクションの実施(7月~8月)

13

市民まちづくりプランとは？

第4回 9月上旬頃

「お試しアクション」のふりかえり

- チームごとに、「お試しアクション」をやってみての気づきを発表・共有

第4~5回の間

(仮称)リーダー会議

- 第5回の発表会(12月)の企画運営会議を行う
- 「市民まちづくプラン」の中身を考えていく

第5回 12月上旬頃

「お試しアクション」 発表会

- プランづくりに参加していない市民に向け「お試しアクション」の結果発表
- 必要な資源(ヒト・モノなど)を集めるために「できること持ち寄りWS」

平成31年度以降の本格実施につなげていく

14

市民アクションに つながるアイデアを考えよう！

- ① 6つの分野ごとの10年後の目指すべき姿を実現するための「問い」への答えとなるアイデアを、個人で考える。
- ② グループで、アイデアを模造紙に貼り、共有する。
- ③ アイディアを、短期・中期・長期に割り振る。

人づくりの「問い」

小さいころから「まち」に触れる機会を増やし、愛着を持っている市民を育てるためには？

高齢の方が、地域の中でもっと活躍できる場面をつくるには？

一度卒業・退職しても、地域で再び学んだり、働いたりできる環境となるには？

「やってみたい」ことにチャレンジする子ども・若者が育つには？

地域の中で、多様な人同士がつながり合うには？

子どもの「問い」

働きながらも、安心して
子供を産み、育てることができる
環境をつくるには？

子育てを通じたつながりが生
まれ、子育て世帯が孤立せず、
お互いに頼れるネットワー
クをつくるには？

地域が子どもたちをあたたか
く見守り受け入れ「まち全体で
子育てをしている」ような気運
を醸成するには？

子どもの個性が大切にされ、
伸び伸びと育つには？

自然を大切に思える
感性豊かな子どもが育つは？

自然環境の「問い」

今ある自然を愛する人を増や
し、みんなで未来に残してい
くためには？

都市部の至る所にみどりがあ
る「長久手市らしい景色」を
保っていくためには？

市の東部の里山、
また、香流川を保全し、
もっと活用するためには？

休耕田を減らし、
後継者につなぐには？

みんなが自然や環境のことを
考え、地球にやさしい持続可能
な暮らしをするには？

生活の「問い」

様々な人が楽しく地域デビューするには？

気軽に相談したり必要な情報を受け取ることで、誰もが安心して暮らすには？

いつまでも元気でいきいき暮らすため、健康寿命を延ばすには？

災害発生時に、互いに助け合うには？

地域のみんなで交通安全や防犯に取り組むためには？

交流の「問い」

長久手の歴史の魅力を市民に広め、次世代に継承していくためには？

様々な世代が、地域の祭りやイベント等の文化的な活動に参加し、交流を生むには？

まちの色んなところで、様々な世代の人が運動に親しむには？

まちの魅力やイベント等の情報を、市内外の色んな人に届けるには？

都市経営の「問い」

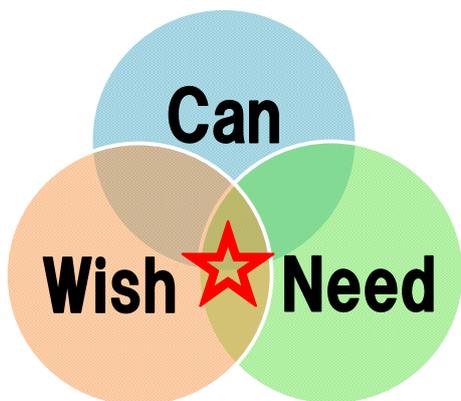
車がなくても困らずに移動できるよう、公共交通を利用したくなるには？

誰もが安全に、安心して移動できるようになるには？

住宅地と自然のバランスが保たれた生活環境を維持するためには？

歩いていて楽しいまちにするためにできることは？

市民アクションを考える上での「大事な3つの視点」



①3つの輪のバランス

②「市民」の力で

③楽しむ！！



市民アクションのアイディアは、ニュースレターをご覧ください 23

アイスブレイク